

## 平成 27 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月

### 1. 学校概要

学校名 新潟県十日町市立飛渡第一小学校

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☒ 小学校 ☐ 小中一貫教育  
☐ 中学校 ☐ 中高一貫教育 ☐ 高等学校  
☐ 教員養成 ☐ 技術/職業教育  
☐ 特別支援学校 ☐ その他（ ）

所在地 〒949-8618  
新潟県十日町市中条戊2033-1

E-mail tobitari1-els@edu.city.tokamachi.niigata.jp

Website \_\_\_\_\_

児童生徒数 男子 10 名 女子 6 名 合計 16 名  
 児童・生徒の年齢 7 歳～12 歳

### 2. 実施活動（複数選択可）

- ☐ 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- ☐ 国際理解
- ☐ 世界遺産
- ☐ 平和・人権
- ☒ 環境
- ☐ 気候変動
- ☐ 生物多様性
- ☐ エネルギー
- ☐ 防災
- ☒ 食育
- ☒ 伝統文化
- ☐ そのほか（ ）

### 3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

当校は、平成元年より27年間「ふるさと環境学習」に取り組んでいます。活動内容は自然環境の保全、作物栽培、伝統文化の継承、食育と多岐にわたります。その中から主な活動6点について報告します。

#### 1 飛渡川で遊ぼう

飛渡川での体験活動を地域の支援団体「濃実会」、公民館との共催で7月の最終日曜日に行っています。この日を「川遊びの会」の日と定め、地域挙げての行事として23回目を迎えます。(今年度実施日、7月27日)児童はこの日のために、春から野菜栽培やポスター作り等の準備を進めたり、川探検で川の変化や生き物の様子などの観察を続けたりしています。会自体の内容は、以下のものです。

- ① 魚のつかみどり ②川探検 ③クリーン作戦 ④イワナの放流  
⑤川をせきとめた天然プール遊び

午前のつかみどりで捕まえた魚は、昼食に焼いて食べます。また、学校菜園で収穫したジャガイモを入れた豚汁も用意され参会者にふるまわれます。安全な会運営のため、昨年度から案内範囲を飛渡地域内に限定して行っていますが、知り合いなど他地域の参加者も受け入れ、今年も参加者は140人と賑わいました。



<川探検>



<生き物学習>

#### 2 EM菌でプール清掃

少しでも環境にやさしい状態を作りたいとEM菌を米のとぎ汁で培養してプールに入れることで、化学薬品や洗剤を使わずにプール清掃を行っています。少人数の当校では楽に綺麗にすることもできるので助かっています。培養液は2回プールに投入します。そのため、春の早い時期から培養のための米のとぎ汁集めに保護者協力を得ています。



<雪の残るプールサイドでEM菌培養液投入>

#### 3 野菜の栽培

毎年、ジャガイモ、夏野菜、さつまいも、大根を育てています。夏野菜は一

一人が苗作り農家で自分の苗を選び、畑の先生から教えていただきながら、水やり等の世話や観察を行いながら収穫の喜びを感じ取っています。無農薬のため虫に葉を食べられたりして大変さもありますが、毎日観察し大事に育てています。ジャガイモや大根は、川遊びの会や文化祭等地域行事用に使います。

また、指導してくださる地域の畑の先生や活動を支援してくださった方々を招いての感謝の会を行っています。その折に栽培したじゃがいもや大根を食材に使いおもてなししました。今年は切干大根やみぞれ汁作りなど保存食や郷土料理にも挑戦しました。育てて収穫し食べる食農教育の考え方を少しずつ取り入れています。



＜ジャガイモ植え＞



＜大根の収穫＞

#### 4 米作り

地域の農家から田んぼを借用し、毎年コシヒカリ栽培に取り組んでいます。田んぼの先生から教えていただきながら、手で苗を植えたり、手で稲を刈ったりと手作業を大事に進めています。今年は4年生が中心となつての活動で、今まで以上に農作業体験を多く取り入れ、農薬と化学肥料を一切使わない米栽培を展開してきました。また、全校で行う田植えや稲刈りには地域の老人会の方々からご支援をいただき、作業の仕方を学びました。昨年、今年と1年生が4人ずつ入学し、全校16人の半数が低学年児童です。そのため、指導者はほぼマンツーマンで指導に当たってくださいます。



＜4年すじまき見学＞



＜全校稲刈り＞

収穫した米は、自分たちで試食し、その後地域の文化祭や十日町雪まつりで販売しました。また、文化祭ではPTA協力の下、地域の方に食べていただきました。販売の際は、児童のメッセージつきのラベルを米袋に入れました。時折米を食べた方の感想が届き、子ども達の活動意欲につながっています。



## 5 伝統を受け継ぐ

地域に残されている伝統を受け継ぐ活動では、伝統芸能や地域信仰等について学ぶ活動を行っています。

### (1) 石投げおけさ・健康体操

地域に伝わる「石投げおけさ」と「十日町小唄」をあわせおけさ保存会のみなさんから教えていただいています。そして、地域の運動会や文化祭では一緒に踊っています。また、老人クラブが健康を保つためにやっている「健康体操」も健康教室の講師の方から教えてもらい、お年寄りと文化祭で一緒に披露しています。どちらもお年寄りの方々とふれあいができる穏やかな時間をつくることにつながっています。今後、「飛渡の未来を創る会」とのコラボ企画にも発展させたいと願っています。



＜石投げおけさ講習会＞



＜みんなで健康体操＞

### (2) わら細工つくりとオンビロづくり

老人クラブの皆さんの指導の下、全校児童がわら細工に取り組みました。またオンビロ作りには高学年児童が取り組み、2年生は近隣校訪問でオンビロについて紹介活動を行いました。わら細工づくりは丁寧なご指導のおかげでとても立派なわら草履やわらじが完成しました。6年生児童はついに時間内で1足完成させ、技能の蓄積を証明しました。1年生は初めての縄緬いに苦戦していましたが、最後には自分の作品（半足）に達成感いっぱいでした。4・5年生は来年こそ時間内1足完成をめざし、腕を磨きたいと語っていました。さいの神に使うオンビロの製作学習は、毎年、老人クラブの久保田秀一さんから指導いただいています。今年はさいの神の前日に講習会を行いました。さいの神当日、期待通りオンビロを高く舞い上げることができました。



＜わらじ作り＞



＜オンビロ作り＞

### (3) さいの神

さいの神は1月の小正月に、道祖神を中心に茅やわら、書き初めや正月飾

りなどをくくりつけ、一緒に燃やしながら無病息災、家内安全、子孫繁栄等を祈る行事です。地域の方たちの協力を得て、今年も大きな「さいの神」を盛大に燃やし、よい春の訪れ、みんなの健康をお願いしました。合わせて、学区にある新水地区に伝わる「オンビロ」という行事も行いました。五色の紙をさいて細長くした「オンビロ」を竹の先に付け、さいの神が勢いよく燃えた時の上昇気流に乗せて飛ばします。高く遠くに飛ぶかどうかでその年の豊作や運気を占うというものです。「オンビロ」は晴天の空に高く舞い上がり、子供達も嬉しそうでした。

燃やしたあとのすみを塗り合い、無病息災を願う「すみぬり」も受け継いでいます。中には真っ黒になった子もいて、後始末が大変だったようです。



＜さいの神とオンビロ＞



＜すみぬり＞

## 6 飛渡川にサケを呼び戻そう

今年度は7回目の挑戦となるサケの飼育・放流活動は、毎年の中魚沼漁業協同組合の協力を得て行ってきました。今年は初めて信濃川を遡上したサケの卵をわけていただき育てました。例年より稚魚が大きく育ち元気な様子に子ども達の飼育活動にも力が入りました。水温管理と水質管理に気を配り、観察記録もつけました。水は地域の方から湧水をいただき児童が運んできます。テーブルの上にある水槽の水替えはとても大変ですが、交代で水替えを頑張りました。昨秋、子供たちは飛渡川下流で、目の前を水しぶきを上げ遡上するサケを見学しました。自分たちの活動の成果を確かに確認できたことで、より一層取組に力が入りました。また、後援会、公民館のご支援により、県北村上市のサケ文化や保護活動を現地で学ぶことができました。「飛渡川にサケを呼び戻そう」の活動は、子供たちに着実に根付いています。



＜飛渡川を遡上したサケ＞



＜孵った稚魚の飼育活動＞

稚魚が大きく育つと水の汚れも早いです。また、寒冷地のため、水槽の水温はすぐに下がります。温度管理のために周りを発泡スチロールで囲んだり、ヒ

ーターをつけたりしました。児童たちはチームに分かれ、えさやりが始まるとほぼ毎日水替えを行い、水質維持に気を配ります。おかげで何とか3月11日の放流活動「サケの旅立ちを祝う会」が迎えられそうです。昨秋、飛渡川を遡上したサケは自然産卵をしていました。「飛渡川にサケを呼び戻そう」の実現が本当にあと一歩まで近づきました。地域の皆さんもサケの話題で楽しそうに語っています。この地域挙げての取組はこれからも続きます。

この他にホタル観察会、星空観察会、ブナ林コンサート等もふるさと環境学習として地区公民館と連携し実施しています。この一連の活動を冊子にまとめたものが「飛渡のほたる」です。今回で18号となります。昨年より、地区公民館が作成してきた地域文集「わらぼし」も合本する形で引き継ぎ、地域の方々、公民館関係の方々からも原稿を寄せていただいています。二つを合本形式にしたことで環境保全活動の記録とともに地域の文芸交流を担うにものになっています。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- ☒ 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- ☒ 時間外活動の時間を使用
- ☐ ユネスコクラブの活動として実施
- ☐ その他( )